



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

会報

令和2年2月

第131号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11
TEL 099-248-0028
FAX 099-248-0028

巻頭言	(公社) 鹿児島県診療放射線技師会 副会長 野中 康博	1
会告	第40回 南薩地域研修会案内	2
	第17回 鹿児島県医療情報システム研究会 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 合同開催	3
	令和2年度 鹿児島県放射線技師会 放射線機器管理士部会開催案内	4
報告	第15回 鹿児島県医療情報システム研究会 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 合同開催	5
	第39回 南薩地域研修会終了報告	8
	第45回 大隅地域研修会	12
	第45回 大隅地域研修会報告	13
	令和元年度 第2回「技師長会議」終了報告	16
	2019年度 鹿児島県放射線技師会 霧島・姶良 県秋季学術大会Web配信報告	20
	「ウェルネスかごしま博覧会」イベント活動報告	22
	第36回 市民健康まつり 開催報告	23
	令和元年度 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 霧島・姶良地域研修会・県春秋季学術大会終了報告	25
理事・監事		29
広告掲載一覧		30
広告		

巻 頭 言

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
副会長 野中 康博



新時代「令和」になり2年目の年を迎えました。

2020年、東京オリンピック及びパラリンピック開催で日本中が盛り上がったあと、鹿児島県では「かごしま国体」が開催されます。県内各地で競技別開催され東京五輪とは違う雰囲気と国の行事を身近さに感じると思います。「選手ファースト」ではあるかと思いますが、私は国体に関わる自治体、競技役員、審判員、会場責任者、サポーター等に携わる方々の身になって一生に一回関わるかどうかの大事業に臨みたいと思っています。

2020年の鹿児島県診療放射線技師会はどうでしょう。4月から適応される診療用放射線に係る安全管理体制の規程により、各施設で義務化への準備最中かと思いますが、医療放射線安全利用のための指針作り、管理責任者の配置、被ばく線量の記録と管理…やる事が満載です。受講率が低迷していた業務拡大に伴う統一講習会は講習会開催が残り少なくなるにつれ、ようやく受講率が増加傾向にあるようです。会員登録も500名を超え地域研修会や研究会、女性技師の活躍の場であるさくらRT、リーダー育成研修会、フレッシュャーズセミナーなど技師会の事業も年々拡大しています。

さらには、鹿児島県診療放射線技師会の中核であります事務所の老朽化対策、技師会費については減額への対策とシニア世代への対応、ネットワークを駆使して地域からの参加負担を抑えるためのTV会議は操作性や使用料金などの検討、災害医療における緊急連絡網の整備など、課題も山積みです。診療放射線技師会から国政の場へ送り出し、要望提案を出しやすい環境を作り、地位確立と夢実現のための動きも課題のひとつです。

言うに及ばず、これらは到底1人ではできるものではありません。「選手ファースト」とはいえ、主役は自分でもあり、サポートする側でもあり、教え導き指導するのも診療放射線技師です。将来の知識豊かな責任感の強い診療放射線技師像を見据え、2020年は勝負の年になる環境を持つ1年ではないかと実感しています。

新時代「令和」もまだ1年経ちませんが、2020年スタートとともに鹿児島県診療放射線技師会が発展・飛躍しますように、また新しい世代の方々が活躍してくださるよう大いに期待したいと思います。今後とも鹿児島県診療放射線技師会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



会 告

第40回 南薩地域研修会案内（CT研究会合同）

鹿児島県診療放射線技師会 南薩地域理事
野中 康博

【日 程】

- ◆開催日：令和 2年 2月29日（土）
- ◆時 間：14時30分～18時
- ◆会 場：県立薩南病院2階 大会議室（南さつま市加世田高橋1968-4）

【内 容】 ※1月14日現在のものです。

- *施設報告（CTに関わるもの）4～5題予定
- *情報提供（CTに関わるもの）4～5題予定
- *講 演「線量管理義務化に向けて～ガイドラインのポイント～」

【参加費】

- ・ 会員、学生、メーカーは無料。
- ・ 非会員の放射線技師については参加費2,000円徴収いたします。

【懇親会】

- ・ 研修会会場から近い場所で3,000円～4,000円の会費制で行います。
- ・ 人数把握のため事前に出欠を取ります。
- ・ 勤務都合により、懇親会のみ参加でも構いません。

【問い合わせ】

- ・ 地 域 理 事 野中 康博（菊野病院） 0993-56-1135
- ・ 総務担当世話人 榮村 仁史（県立薩南病院） 0993-53-5300
- ・ 学術担当世話人 川西 義浩（南州メディカル） 099-272-0567
- ・ 学術担当世話人 長野 勝悟（馬場病院） 099-296-2611
- ・ CT研究会世話人 新村 栄次（今給黎総合病院） 099-226-2211

※詳細が決まりましたら二回目の案内として県技師会ホームページに掲載いたします。
（南薩地域には文書でも発送します）

会 告

第17回 鹿児島県医療情報システム研究会 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 合同開催

鹿児島県医療情報システム研究会
島児 末治

第17回鹿児島県医療情報システム研究会と鹿児島県医療画像情報精度管理士部会を下記の通り合同で開催いたします。ご多忙中とは存じますが、積極的なご参加をお待ちしております。

— 記 —

日 時 2020年2月15日(土) 14:30 ~ 17:40
会 場 鹿児島市立病院 多目的ホール 鹿児島県鹿児島市上荒田町37-1
参加費 日本診療放射線技師会員・学生・メーカー：無料 非会員：2000円

プログラム

- ① 開会挨拶 代表世話人 太田原 美郎
- ② 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会活動報告 部会長 島児 末治
- ③ 座学 14:40 ~ 14:50
「モニタ選びの基礎知識と実践活用(品質管理含む)」
EIZO株式会社 福岡営業所 河合 宏一
- ④ 話題提供 15:20 ~ 17:20
「被ばく線量管理システムの実践と運用管理」(各40分)
 - ① EIZO株式会社 ITソリューション部 基盤システムソリューション課 加島 陽
 - ② 熊本大学病院 熊本大学病院 医療技術部 診療放射線技術部門 川俣 祐貴「施設紹介」(10分程度)
 - ①鹿児島大学病院
 - ②鹿児島市立病院
- ⑤ ※ モニタハンズオン 17:20 ~ 17:50
- ⑥ 閉会挨拶

※ 研修会はサテライト会場を設けWeb配信予定
詳細は、各地域理事にお問い合わせください。

当研究会の付加ポイント予定申請一覧

※医療画像情報精度管理士更新カウント ※医療情報技師ポイント 1ポイント
※医用画像情報専門技師ポイント 1ポイント ※日本診療放射線技師会学術研修カウント 3ポイント
申請中のポイントは確定次第、以下にて公開します <https://www.facebook.com/kagoshima.medicalsystem>
主催：鹿児島医療情報システム研究会 共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会
後援予定：日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構 日本医用画像管理学会 医療情報技師育成部会
問合せ先：島児 末治 0994-32-5211(内線125) 垂水中央病院 放射線室

会 告

令和2年度 鹿児島県放射線技師会 放射線機器管理士部会開催案内

鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎
放射線機器管理士部会 部会長 西元 辰也

下記の日程で機器管理士部会を開催することとなりました。
管理士資格の有無は問いません。多数参加して頂きますようご案内申し上げます。

日時 令和 2年 3月 1日 (日)
時間 9時30分 ~ 12時30分
会場 鹿児島市立病院 2階大会議室

- 【 開会の挨拶 】 鹿児島県放射線機器管理士部会世話人 三反田正紀
- 【 県技師会活動報告 】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会会長 太田原 美郎
- 【 部会活動報告 】
放射線機器管理士部会 活動報告
鹿児島県放射線機器管理士部会 部会長
- 【 トピックス 】 9:40~10:30
1. 「AIR Technologyについて」
2. 「SIGNA Liftについて」
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
MR営業推進部 プロダクトスペシャリスト 逸見 広治先生
- 【 装置管理 】 10:30~11:30
1. 「造影剤自動注入装置の安全管理」
バイエルフィールドサービス&テクニカルアシスタンスセンター マネジャー 東 厚志先生
2. 「FPD(一般撮影用、マンモ撮影用)の管理について」
コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー プレストヘルス営業部 松村 茂樹先生
- 【 講演 】 11:30~12:30
~ 医療法施行規則一部改正に伴う診療用放射線に係る安全管理体制 ~
司会：鹿児島市立病院 西元辰也
鹿児島市医師会病院 橋口 満
「診療用放射線に係る安全管理体制における放射線機器管理士の役割」
鹿児島市立病院 放射線技術科 隈 浩司 先生

- ※① 技師会非会員の方は、2,000円徴収致します。
② 日本診療放射線技師会学術研修カウント申請予定です。

【 連絡先 】 鹿児島市立病院 放射線技術科 西元辰也 TEL 099-230-7000 (2140)

第15回 鹿児島県医療情報システム研究会 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 合同開催

鹿児島県医療情報システム研究会
島児 未治

日 時 2019年2月16日(土) 14:30 ~ 17:40
会 場 鹿児島市立病院 多目的ホール 鹿児島県鹿児島市上荒田町37-1
参加費 日本診療放射線技師会員・学生・メーカー：無料 非会員：2000円

プログラム

- ① 開会挨拶 代表世話人 太田原 美郎
- ② 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会活動報告 部会長 島児 未治
- ③ 医用画像運用施設報告 14:40 ~ 14:50
「PACSクラウドの現状と問題点 ~クラウド導入4年を迎えて~」
今給黎総合病院 中央放射線部 池田 真一
- ④ 話題提供 14:50 ~ 16:10
「既読管理について」
株式会社ジェイマックシステム 営業部 営業推進グループ 石塚 勝樹
「被ばく線量管理システムについて」
EIZO株式会社 ITソリューション部 基盤システムソリューション課 加島 陽
- ⑤ 「検査予約地域医療連携システムについて」16:25 ~ 17:40(各20分)
「C@RNA Connect」 富士フィルム メディカル株式会社
九州ITソリューションセンター 大平 進也
「infomity 連携BOX」 コニカミノルタ ジャパン(株)
九州支店 営業推進グループ 村上 修一
「施設運用紹介」各10分程度
霧島市立医療センター(坂口 右己) 国立病院機構指宿医療センター(白木 利明)
- ⑥ 閉会挨拶
※ ミニ展示(ジェイマックシステム・EIZO・富士・コニカ株式会社) 14:00 ~ 18:00

2月16日、鹿児島県医療情報システム研究会と鹿児島県医療画像情報精度管理士部会との合同研修会を鹿児島市立病院で開催し56名(会員47名、メーカー9名)の参加があった。

初めに鹿児島県医用画像情報精度管理士部会の現状及び取得方法について説明を行った。

会員報告は、今給黎総合病院の池田真一技師がPACSクラウドの現状と問題点について説明があった。

話題提供として①「既読管理について」と題した株式会社ジェイマックスシステムの石橋勝樹氏に講演を頂いた。読影レポートの見落としにより患者が死亡する事例に伴い必然的に病院の信頼度は低下し賠償金が発生する可能性がある。日本医療機能評価機構によると2004～2013年17件から2014～2017年41件と増加傾向である。また、読影レポート見落としの原因として①検査後、読影レポート完成前に診察を行い読影レポート参照せず診察を完了する。②画像検査後、関心部位の診断を依頼医自身で行い読影レポートを参照せず判断する(目的部位以外の見落とし)③複数の医師が診療に関わり情報共有や引継ぎミス等がある。マスメディアで読影不備の為に癌診断を見落とし、症状が悪化したという事例が報道され確実な読影に向けた対策が必要とされる中、レポート見落とし対策が重要視される可能性がある。

②「被ばく管理システム」と題してEIZO(株)の加島陽氏が厚労省は2020年に医療被ばくの線量管理や医療被ばく線量記録を義務化される事が予想される為、準備の必要性を強調された。今後も動向を注視する必要がある。

次に検査予約地域医療連携システムでは、富士フィルムメディカル株式会社の大平進也氏とコニカミノルタジャパン(株)の村上修一氏の講演後、霧島医療センター及び指宿医療センターの施設報告があった。会員と病院とのネットワークを利用する為、電話予約が不要となり24時間365日いつでも予約が可能となる。また、検査予約以外にも診察・院内で作成された診療情報提供書や看護記録のサマリー化されたデータ等、様々なシステム拡張が可能となる。施設報告では、電話予約なしで検査後もレポートがタイムリーに閲覧できる等、会員からの評価は高かった。一方、電子カルテの予約枠と連動していない為、予約後に地域連携室で電子カルテにオーダー入力している。デスクッションは、活発な意見交換となり大変有意義であった。

会場に既読・被ばく線量管理ソフトの機器展示を設け活発な情報交換の場となった。最後に今後も、本会の活性化に向け魅力ある研修を行っていきたいと考えておりますので鹿児島県医療画像情報精度管理士部会の発展に向け皆様のご尽力をお願いします。

【 参加者 】

奥西 達也	藤崎 拓郎	島児 末治	田中 義朗	永田 隆二
副島 恭平	市園 淳二	武宮 太	小屋 俊彰	池田 真一
沖中 裕幸	吉野 健	執印 裕之	佐藤 浩司	恵 智徳
吉見 公作	磯邊 拓哉	坂口 右己	山下 新一	西元 辰也
上床 達哉	上川 智弘	山下 友也	山口 禎久	上舞 優介
松下 芳正	白木 利明	園田 隆	長崎 守	若松 重良
橋口 満	西 謙一郎	隈元 忍	市原 正道	飯伏 順一
浮田 啓一郎	大園 健一	児玉 公輝	藪田 大樹	尾崎 隼
淵脇 崇史	持留 浩輔	大塚 麻里	浅井 愛邦	隈 浩司
太田原 美郎	白石 朋之			



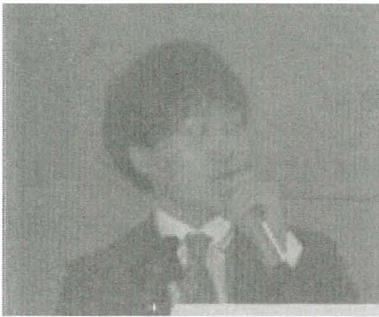
太田原会長



島児部会長



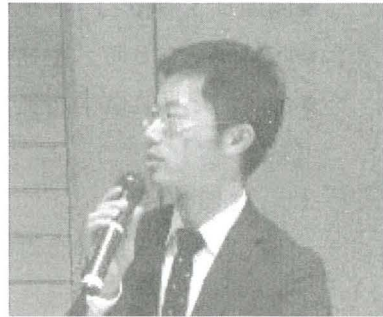
池田技師



石塚氏



加島氏



若松座長



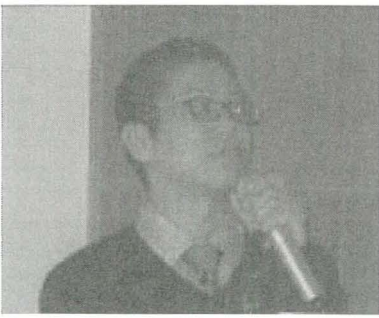
大平氏



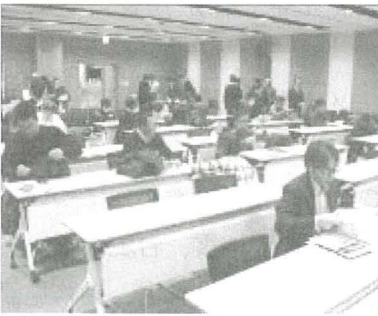
村上氏



坂口技師



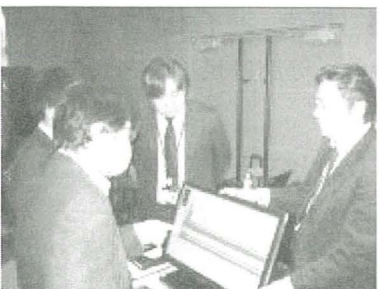
白木技師



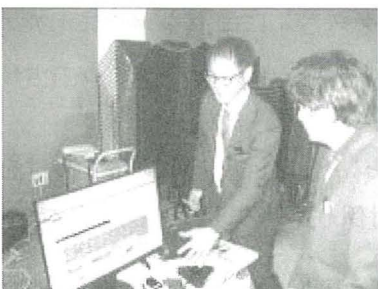
会場風景①



会場風景②



機器展示①



機器展示②



機器展示③

第39回 南薩地域研修会終了報告

鹿児島放射線技師会 南薩地域理事
野中 康博

【日 程】

- ◆開催日：令和 1年 9月28日（土）
- ◆時 間：15時～18時
- ◆会 場：県立薩南病院2階 大会議室(南さつま市加世田高橋 1968-4)

【内 容】

1. 会員報告

- ①『乳腺 FNA 画像を対象とした機械学習モデルの初期検討』
小原病院 潮 美 邑 技師
- ②『当クリニックの現状について～紹介含めて』
松岡救急クリニック 山崎 慎治 技師

2. 情報提供

- ③『Aero DR fine で実現する胸部動態撮影動画撮影』
コニカミノルタ 奈良 翔太 様

3. 講 演

- ④『自然災害から学ぶ今後の備え』
南さつま市消防本部 南さつま消防署 黒瀬 光志 様
- ⑤『足の健康とインソールの効能について』
カイクスイング 鹿児島営業所 所長 湯 脇 稔 様(作業療法士)

【出席者】

放射線技師 27 名、学生 4 名、メーカーおよび講師 7 名、計 38 名。※リストは別項。

【総 括】

今回の講演は初の試みとして「自然災害の備え」について現場の消防本部隊員を招き、講演を頂きました。全国的に自然災害（地震、台風など）に悩まされ、病院機能を失う事例もありました。特に河川氾濫による被害は自宅、勤務施設などの備えについて改めて考えさせられました。

もう 1 題の講演はカイクスさんに講演を頂きました。足裏（構造、バイオメカニクス等）に焦点を当て、実際に身体バランス測定できるデモ機を持参「健康は足裏から」に参加者も大いに興味を持ったことと思います。

原田学園 4 年生が実習中のということもあり、呼びかけをしましたところ 4 名の学生に参加していただきました。受付係りも率先して協力いただき大変ありがたかったです。

◆出席者一覧（受付名簿順に示す）

J A R T 会 員

所属	会員番号	氏名	所属	会員番号	氏名
南州メディカル	33998	川西義浩	浩然会病院	45030	國生岳志
県立薩南病院	29832	榮村仁史	立神リハ温泉病院	43951	白澤清英
菊野病院	35101	野中康博	指宿ケアセンター	34389	伊地知洋一郎
鹿児島医療技術専門学校	44945	平原大助	菊野病院	63197	當房卓也
小原病院	68630	潮 美邑	サザンリージョン病院	43756	南野隆志
県立薩南病院	26472	餅原信広	有馬病院	68883	池田健太
松岡救急救急クリニック	47129	山崎慎治	阿多病院	36315	佐藤浩司
県立薩南病院	38969	渡 幸二郎	加世田病院	69448	諏訪武志
県立薩南病院	58547	荒田恭平	徳久整形外科	26393	松野下直美
霧島杉安病院	62764	桐木平直輝	唐仁原内科クリニック	32928	江平俊雄
サザンリージョン病院	59690	吉崎早紀	加世田病院	42039	木佐貴克郎
久木田整形外科病院	24831	園田実郎	※上記一覧は当日の受付名簿順に掲載しています。		
鹿児島医療技術専門学校	53660	東 幸浩			
サザンリージョン病院	50376	江藤 実			
鹿児島市立病院	68882	長野翔太			

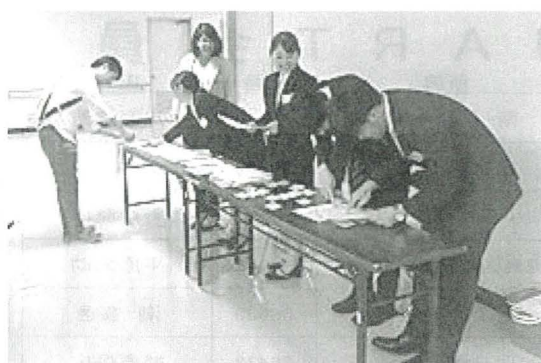
非 会 員

所属	職業等	氏名
有馬病院	診療放射線技師	番匠志尚
※上記1名からは参加費2,000円を徴収しています。		
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	小園 玲
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	松野下珠未
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	宮本大地
鹿児島医療技術専門学校	放学科4年生	崎村一稀
※上記4名(学生)からの参加費は徴収していません。		
カクイックス	メーカー	湯脇 稔(講師)
カクイックス	メーカー	谷口弘樹
コニカミノルタ	メーカー	宮崎芳成
コニカミノルタ	メーカー	田中浩二
コニカミノルタ	メーカー	奈良翔太(講師)
富士フィルムメディカル	メーカー	松下靖彦
南さつま市消防本部	警防課	黒瀬光志(講師)
※上記7名(メーカー等)からの参加費は徴収していません。		

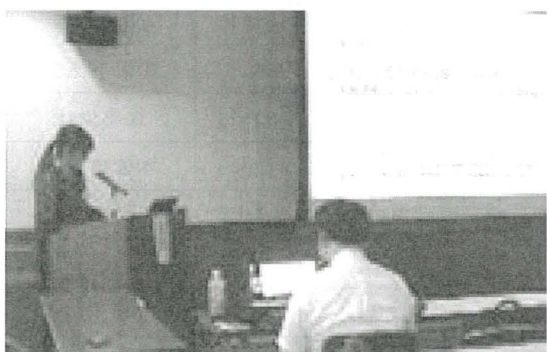
◆写 真



↑会場の県立薩南病院 2F 会議室



↑原田学園の実習生に受付を手伝って頂く



↑小原病院・潮技師の報告



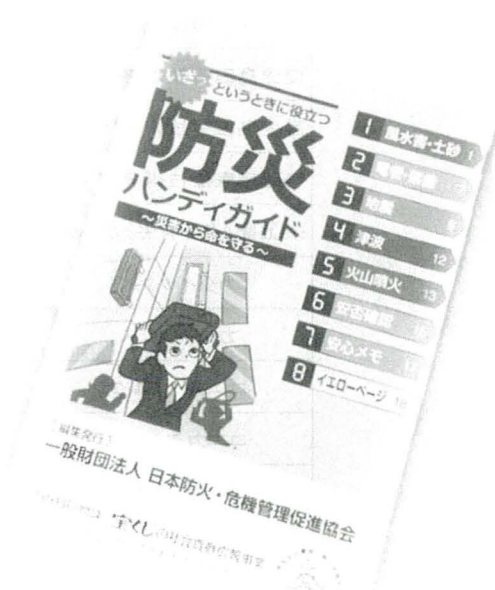
↑松岡救急クリニック・山崎技師の報告

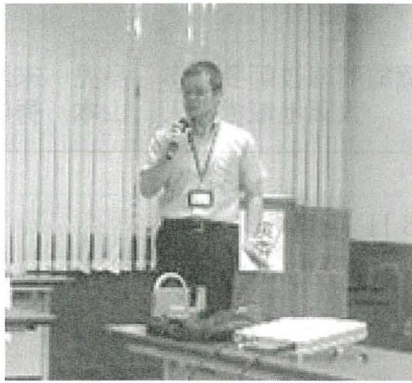


↑コニカ・奈良氏の情報提供

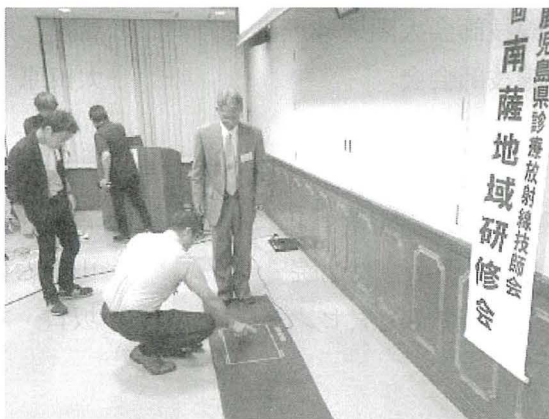
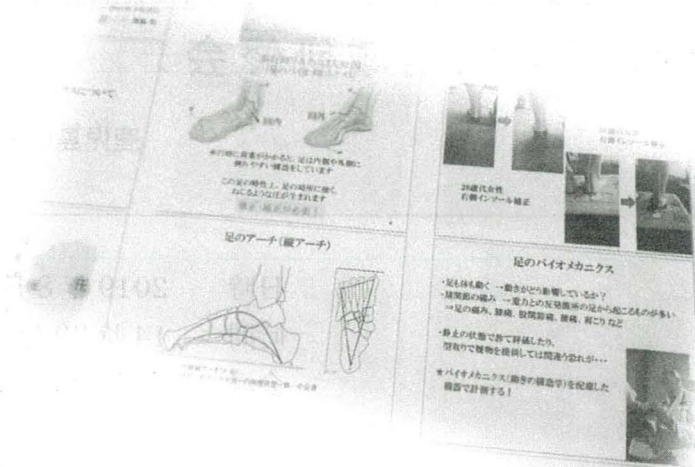


↑南さつま市消防本部・黒瀬氏の講演





↑カクイクス・湯脇氏の講演



↑歩くだけで足の裏、身体バランスの計測ができるデモ機は人気でした。↑



↑懇親会は11名参加。

第45回大隅地域研修会

鹿児島県診療放射線技師会理事 島児 末治
大隅地域世話人 山本 秀明

日時 2019年8月3日(土)
時間 14時30分～17時30分
会場 大隅鹿屋病院 本館9階講義室

- 【開会の挨拶】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会大隅地域理事 島児 末治
【県技師会活動報告】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会会 太田原 美郎

【会員報告】 14:40～15:10

- | | | |
|-------------------------|----------|-------|
| 1. 第44回大隅地域研修会アンケート結果報告 | 鹿屋医療センター | 吉福 淳 |
| 2. 骨密度測定装置紹介 | 垂水中央病院 | 山中 仁 |
| 3. 機能評価受審報告(画像診断部門) | 霧島医療センター | 坂口 右己 |

【ITEM2019最新情報】 15:10～15:30

- 「MRI装置最新情報の紹介」 (株)フィリップスジャパン(株)
九州ブロック MRI モダリティスペシャリスト 重見 和紀

【座学】 15:40～16:10 座長 永山 宗臣 (大隅鹿屋病院)

「MRI-DWIBS撮像及び注意点について」

- | | | |
|----------------------------|------|--------|
| ① 昭南病院 (1.5TMRI装置:日立製作所) | 昭南病院 | 熊谷 繁夫 |
| ② 池田病院 (3.0TMRI装置:シーメンス社製) | 池田病院 | 田之上 武士 |

【教育講演・ハンズオン】 16:20～17:20 座長 市園 淳二 (垂水中央病院)

「よくわかる 脊椎X線撮影(頸椎～仙骨)の実践撮影法と補正法」

鹿児島X線撮影研究会 代表世話人

公益財団法人 慈愛会 今村総合病院 統括技師長 馬場 隆行

- 【閉会の挨拶】 大隅地域世話人 山本 秀明

第45回大隅地域研修会報告

大隅地域世話人 学術担当 熊谷 繁夫

8月3日大隅地域研修会を大隅鹿屋病院にて開催し、27名（会員22名、非会員1名、メーカー4名）の参加がありました。

会員報告は、鹿屋医療センターの吉福技師が前回研修会アンケート結果を報告した。CT、MRI分野の研修会希望が多かった。次に垂水中央病院の山中技師が、「骨密度測定装置紹介」でホロジック製骨密度装置の導入経験を報告し、技師1年目ながら、堂々とした発表にエールが飛んだ。最後に、霧島医療センターの坂口技師により「機能評価受審報告(画像診断部門)」を報告し、主な監査項目は、1 誤認防止確認、2 情報伝達エラー防止、3 薬剤の安全な使用方法、4 転倒転落防止、5 画像診断の適切な運用等と参考になった。

TEM2019最新情報として、フィリップスジャパン(株)の重見氏より「MRI装置最新情報の紹介」があった。最新のブルーシールマグネットは、従来の液体ヘリウム量1500ℓから、7ℓまで減少する事が出来、これにより、重量も900kg軽量化され、クエンチ配管も不要となり、導入コストの削減にも繋がる。また、最新のアプリケーションとして、高感度カメラによる体動監視による呼吸同期システムなど紹介された。今後の、動向に注視したい。

座学では、「MRI-DWIBS撮像及び注意点について」、1.5TMRIユーザーの昭南病院の熊谷及び3.0TMRIユーザーの池田病院の田之上技師から報告があった。DWIBS法は、近年全国でも盛んに撮像されるようになってきた、全身検索のMRI検査である。鹿児島県でも一部開始されたので、1.5TMRIと3.0TMRIの画像を確認しながら、注意点を共有した。

教育講演・ハンズオンの「よくわかる 脊椎X線撮影(頸椎～仙骨)の実践撮影法と補正法」では、今村総合病院の馬場技師が座学は頸椎から腰椎までの脊椎撮影について、基礎ではポジショニングを応用ではX線の入射角の理論まで、詳しく解説をされた。

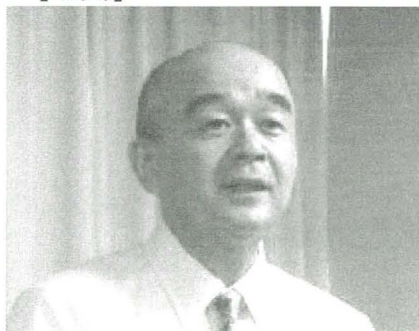
その後、X線撮影室において、ハンズオンが行われました。

今後も、会員のスキルアップ向上を目指し、研修会を運営したいと思っておりますので、皆様のご意見、ご協力をお願いします。

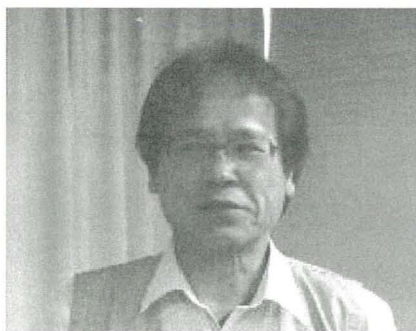
【参加者】

深水 武	熊谷 繁夫	島児 末治	前東 純一郎
吉福 淳	寒水 諒	新名 遥	石原 剛
藤崎 拓郎	中山 龍一	市園 淳二	坂本 幸望
山中 仁	田之上 武士	村山 玄弥	重田 洋一
馬場 隆行	坂口 右己	浅井 愛邦	山下 達也
寺師 俊彦	山本 秀明		

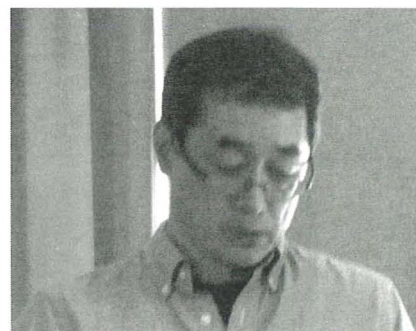
【写真】



藤崎副会長



島児地域理事



吉福技師



山中技師



坂口技師



重見氏



山下座長



熊谷技師



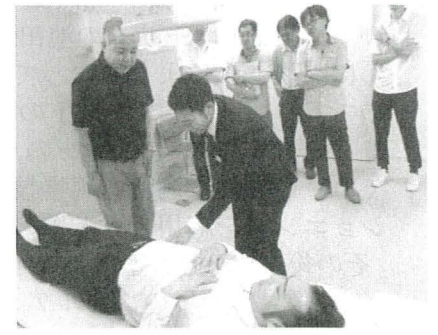
田之上技師



市園座長



馬場技師



ハンズオン



第44回大隅地区研修会に関するアンケート調査結果

開催日 2019年2月2日 アンケート結果報告者 吉福 淳
 放射線技師出席 26名 アンケート回収 23名 回収率 88%

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	未記入	計
人数	6	6	4	7	0	0	23

1. 今回の研修会で満足された企画

	大変満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	評価できない	未記入	計
①会員報告	8	11	3	0	0	0	1	23
②座学	7	9	6	1	0	0	0	23
③基調講演	16	5	1	0	0	1	0	23
④システム紹介	8	11	2	0	0	1	1	23

コメント： 基調講演がとても参考になった。

2. 研修会で希望するテーマ

検査

	検査方法	画像処理	読影関係	機器管理
CT(32回答)	22%	40%	32%	6%
MRI(26回答)	38%	27%	19%	16%
一般撮影(18回答)	50%	2%	33%	5%
透視検査(11回答)	46%	18%	18%	18%
超音波(11回答)	64%	18%	18%	0%

コメント：撮影画像の良否の判断

管理(14回答)

医用画像	放射線被ばく管理	感染管理	医療安全	物品管理
14%	36%	14%	36%	0%

コメント：連携災害対応（機器の管理対応、県技師会の地域連携対応等）

～技師会活動関係～

3. 診療放射線技師賠償責任保険について

	会員自動加入保険は知っている	任意保険は知っている	両方知っている	知らない
人数	2	6	8	6

理由：会報<40代男性>

4. 任意加入保険に加入していますか

	加入している	加入していない
人数	6	17

理由：安心である<50代男性>

取りあえず会員自動加入保険があるので<30代男性>

5. 技師会認定資格について

	取得している	取得していない
人数	6	16

- ・放射線管理士 3名
- ・臨床指導教員 1名
- ・被ばく相談員 1名

- ・放射線機器管理士 3名
- ・医療画像情報精度管理士 3名

理由：放射線管理士Web受講申請中
 日程等が合わない

令和元年度 第2回「技師長会議」終了報告

鹿児島県診療放射線技師会
副会長 野中 康博

平成31年1月、初の試みとして「技師長会議」を開催以来、二回目の開催となりました。今回は議長を選出し、事前に議案も募集するなどして8つの議案で臨みましたが、一回目開催と同様、会議が始まりますと熱い討論が展開され、休憩時間または会議終了後も技師長同士で情報交換が続く姿を見ますと各施設、現状抱えている諸問題に解決の糸口を切り開こうとする姿勢を強く感じ得ます。

しかしながら今後定期化するためには議案の設定と議長との事前打ち合わせ、資料準備など課題も多く、検討の余地もあります。県内各地から多くの技師長様に集結して頂きたいと思う反面、日程調整や会場確保(大きな会議室)のほか、案内方法、メールリスト構築、資料作成、相応しい名称、議長輪番制など課題も多く、運営的な面を含め次回開催については慎重な準備計画が必要となります。

【日 程】

- *開催日：令和 元年 9月 1日 (日)
- *時 間：10時～11時50分
- *会 場：鹿児島市立病院2F大会議室
- *出席者：25名
- *議 長：南薩地域 長野勝悟(馬場病院)

【プログラム】

1. 会長あいさつ
2. 議案
 - ①読影補助
 - ②ワークライフバランス
 - ③処遇
 - ④患者動向
 - ⑤連絡網
 - ⑥技師会行事への参加
 - ⑦「診療用放射線の安全管理に関する規程」への取り組み
 - ⑧その他
3. 伝達事項
4. 閉会あいさつ

【議案まとめ～意見抜粋～】

①読影補助

- *超音波専属の技師を配置し、レポートを出している。(書式がある)
- *時間外で専門科以外の医師から指示がある場合、放射線技師と一緒に画像を見て判断。重症度によっては鹿児島市内施設へ紹介搬送する。その逆で内科医が整形領域で判断し難いケースもある。
- *当院は内科系が主。胃透視などはほぼルーチン通りだが、追加撮影があるときは放射線技師でも対応しレポートまで出す。
- *専門外の医師が時間外診療で診る時は放射線技師からも意見を伝える。(レポートの書式がある)
- *放射線科医が居ると居ないのでは大きな違いがある。放技師の認定制度がうまくいっていないのも現状である。
- *今後、CTやMRIの読影について技師側から助言できれば良い。存在的診断、質的診断までのレポート「みえる化」が理想。今後「みえる化」を実施する病院を参考に、勉強会ができれば良い。

②ワークライフバランス

- *南薩地域研修会で実施したアンケート結果参照

平成31年1月開催の技師長会議で夜間業務およびオンコール業務について議案が挙げられた。これを踏まえ、直後2月の南薩地域研修会ではアンケートを実施し、結果をまとめて配布。施設の規模、診療科、地域性などにより稼働環境が異なるため技師増員も容易ではなく(雇用費)、手当が少ないのが現状。「夜間を重視し過ぎて昼間に負担がかかる事も問題」「緊急性の低い検査でも夜中に呼ばれることもあり負担が大きい」という意見もあった。

③処遇

- *ワークバランスの項と重なるが、各施設の放射線部門が組織上の各診療科長(課長)と同等の位置付けにしてもらいたいが、現状はどうか?
- *当院は理事長、院長、とも親しく話せる環境にある。人員や装置入れ替え等の検討でも早めに取り掛かれる。そのためには件数や使用年数、患者動向、収益など「数字」把握は必須。女性技師が多い施設であるが業務以外の役割分担も必要。

④患者動向

- *少子高齢化により、患者も少ないのではないか。
- *財政が圧迫される中、建て替えや増築で支出も大きい。しかしながら近年、経営陣の努力により現在は患者数、手術数も増えている。技師長も事務や医師との連携によるマネジメント業務が主。
- *当院は地方にある中規模医機関の典型である。患者動向でいうと各モダリティーも件数が減少傾向で、患者数が少ないのも分かる。しかしながら、充実した治療(リハビリ)、

特殊な手術や装置、有名な医師の確保により地区外からの患者確保も可能では。専門外の診療では近隣施設と協力し合って対応している。

⑤連絡網

- *緊急連絡としての活用が主だが、末端までキッチリ情報を回したい。できれば技師会（登録会員）だけではなく、（放射線技師の居る）各施設に情報を届けたい。
- *ホームページの問題は以前から課題を抱えるものであり今後技師会で検討し改善に努める。
- *ホームページについて、会員登録するには有料となり、今後検討が必要。研修会、研究会などの案内は無料版の利用が可能だが容量に制限がある。
- *技師長会議については地域単位で代表者（世話人・窓口）を選出し、登録会員だけではなく非会員含めた放技師全員への連絡網にしたい。個人情報の問題もあり、情報を受け側も理解していただきたい。（送信する情報は公的な伝達内容に限る。）
- *研究会などの広報や案内がホームページから登録できるようにして頂きたい。

⑥技師会行事への参加

- *JART、九州、県・・・参加する枠が限られているものもあり出席者が同じメンバーとなる場合が多い。各地域、各施設で多くの方が出席できるような体制を作り、呼びかけをしてもらいたい。各施設、出張費は認められているのかどうか？
- *当院では最近なかなか出してもらえない。他施設も同じではないか。

⑦「診療用放射線の安全管理に関する規程」への取り組み

- *被ばく線量の記録、管理について行政（施設監視）からも指導される場合がある。
- *技師会としても厚労省からの情報がなかなか入ってこないのが現状。院内における責任者は基本的には医師であるが、放射線技師でも構わないのでは。
- *具体的な情報が無い（入らない）ので動けない。あったとしてもすぐに対応できない事項なので数年はかかると思う。メーカーにも協力頂き、現状装置に手を加えたり装置更新するなど、慌てて動く必要は無いのでは。組織を作り、全職員向けの研修会（年一回）を計画するなどの準備が先。

⑧その他

（１）事前に出された議案

- *人事により放射線科医師の常勤医が不在となり、非常勤医師のもとなった。このため画像診断加算Ⅱ算定ができなくなり収益に影響が発生。医師会会員や依頼医師にも苦情が出ており、会員からの紹介数にも影響が出ている。
- *医療改正の対応ができていない（医療被ばく線量管理等）、老朽化した装置の更新予算がつかない、など。
- *なかなか難しい問題であり、今後どう対応していくのか、また放技師会でできることがあるか。
- *放射線科医師の診療日とそうでない日がある。以前は常勤が居て加算Ⅱを取れたが、院

外への「遠隔読影診断」では加算 I も取れないのでは。(院内診断に限る)

(2) 今後の技師長会議について

* 今後、技師長会議は継続していきたい。そのために今回アンケートを実施し、会議の名称や運営、持ち回り議長制、懇親会開催、などを検討していきたい。また、今後取りあげて欲しい議案も挙げていただきたい。欠席されている技師長からも意見提案など添えてメール、メーカー便などで提出いただければありがたい。結果は今後の運営に活かしたい。

次回は土曜午後開催、終了後は懇親会も企画したい。1月か2月の開催を目指す。

* 各地域からの選出は期限を決めた方がよい。選出された世話人の主業務は何か？

→ 選出にあたっては地域を支える世話人や放技師が複数所属する施設など、バランス良く選出できるよう地域理事にも協力を求める。第一回目開催時の案内に「施設間の情報共有、協力体制の強化、放射線業務における問題の解決と放射線技師の職場環境、待遇改善を目的」としており、これに則った業務が主となる。技師会事業の案内、参加・運営協力のお願ひなども含む。(県技師会)

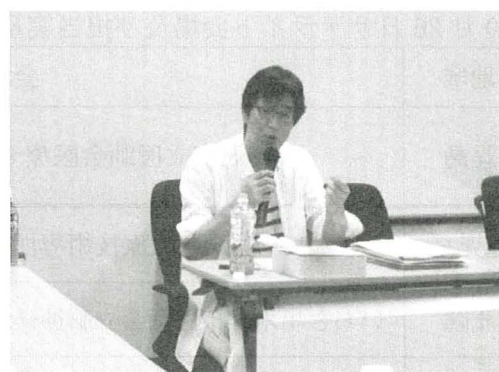
(3) メールリストについて

* 配布のリストについて、今後利用させていただくことを了承。個人情報の面も十分な配慮を申し合わせ。

【写真】



↑ 会場の市立病院 2F 会議室



↑ 会長あいさつ



↑ 終了後も情報交換…

2019年度鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良県秋季学術大会Web配信報告

鹿児島県診療放射線技師会理事 島兒 末治

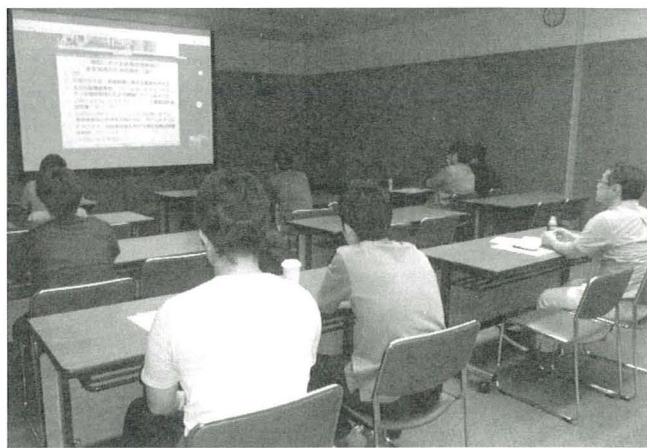
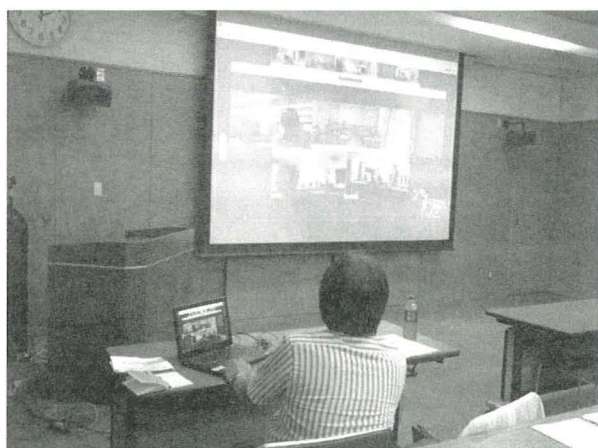
10月26日霧島・始良地域で鹿児島県秋季学術大会が開催され43名(学生12名)が参加した。本大会は県内で初めて各地域にサテライト会場を設けWeb配信を行った。霧島本会場がWifi使用の為、事前に相良病院の大迫俊一地域理事とWeb配信テストを繰返してきた。画像転送速度の不安定に伴う画像や音声等が危惧されたが滞りなく遂行した。

アンケート結果では、研修会全体を通して映像は問題なかったが特別講演以外の会員発表・CTトピックスは、講演途中、音声聞こえない・ハウリングする等の回答が多かった。また、大島地域からはWeb配信に期待する意見が多かった。

2017年2月副会長として大島地域研修会に会長代理で参加させて頂いた折、徳之島から飛行機で大島会場に参加される状況を目のあたりにし地理的に参加困難な状況を実感した。この事が地域格差を生み技師会入会低下の要因になっていると考え「Web配信の実現」を自己の使命と誓い帰鹿し現実化に至った。今後は、Web配信アンケート結果を踏まえ改善を図り活動を推進する予定ですので会員の皆様のご協力をお願いします。

(10月26日サテライト会場及び担当実務者)

	地域	会場名	担当者
本会場	霧島	霧島市立医師会医療センター 2階大会議室	大迫 俊一
サテライト会場	鹿児島	鹿児島医療技術専門学校 5号館511教室	新留寿 橋口慎右
	北薩	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 新棟2階大会議室	恵 雄志
	大隅	県民健康プラザ鹿屋医療センター 2階講堂	島兒末治 坂本幸望
	大島	鹿児島県立大島病院 救命センター研修ホール(4階)	吉田 行寿



2019年度鹿児島県診療放射線技師会
霧島・始良地域研修会・県秋季学術大会Web配信アンケート結果

報告者 坂本 幸望

日時 2019年10月26日 会場 霧島市立医師会医療センター
診療放射線技師出席 31名 アンケート回収 30名

回収率 97%

各サテライト会場参加人数

サテライト会場	大島	大隅	北薩	鹿児島	計
参加数	7	9	3	24(学生12)	43

1. 技師会活動報告について（会長挨拶含む）

動画	スムーズ	やや遅い	ややボケる	遅い	ボケる	評価できない	未記入	計
人数	20	5	1	0	0	1	3	30
音声	聞こえる	時々聞こえない	ハウリングする	聞き取りづらい	評価できない		未記入	計
人数	12	10	1	3	1		3	30

・マイクによっては聞こえないものもあった（鹿児島）

2. 一般演題発表（スライド含む）

動画	スムーズ	やや遅い	ややボケる	遅い	ボケる	評価できない	未記入	計
人数	21	6	1	0	0	1	1	30
音声	聞こえる	時々聞こえない	ハウリングする	聞き取りづらい	評価できない		未記入	計
人数	9	13	1	5	1		1	30

- ・会場のマイクからの音声が聞こえない。（発表者・座長は聞こえる）
- ・切替直後に発表者の声も聞こえない（鹿児島）
- ・質問者のマイクが聞こえない（鹿児島）（大隅）
- ・発表者は聞こえるが、質問は全く聞こえない、回答も聞き取りづらい。（鹿児島）
- ・質問応答時、質問者の声がほぼ聞こえない。（鹿児島）
- ・質問が聞こえない（鹿児島）
- ・質問者の動きが遅い、聞こえない（鹿児島）
- ・質疑応答が全く聞こえない（鹿児島）
- ・質問者が質問する音声が途切れる事が多い（鹿児島）

3. トピックス（スライド含む）

動画	スムーズ	やや遅い	ややボケる	遅い	ボケる	評価できない	未記入	計
人数	21	4	1	0	0	1	3	30
音声	聞こえる	時々聞こえない	ハウリングする	聞き取りづらい	評価できない		未記入	計
人数	9	10	3	4	1		3	30

- ・一般演題と同様である（鹿児島）
- ・質疑応答時、質問者の声がほぼ聞こえない（鹿児島）
- ・質疑応答が聞こえない（鹿児島）
- ・質疑応答時の会場（質問者）の音声が聞こえない（鹿児島）

4. 特別講演（スライド含む）

動画	スムーズ	やや遅い	ややボケる	遅い	ボケる	評価できない	未記入	計
人数	22	2	1	0	0	0	5	30
音声	聞こえる	時々聞こえない	ハウリングする	聞き取りづらい	評価できない		未記入	計
人数	18	3	2	2	0		5	30

- ・会場のマイクの声が聞こえた（鹿児島）
- ・音質が変化して聞き取りにくい（鹿児島）
- ・演者の声がこもっていた（鹿児島）
- ・会場音声が改善された（鹿児島）

5. 意見

- ・積極的に導入して欲しい。（大隅）
- ・会場の音響を前日に確認する必要がある。（座長・演者・フロア）（大隅）
- ・画像の中断があった→PCの問題？（大隅）
- ・フロアからの質問が聞こえない以外は上記アンケート通りスムーズでした。（大島）
- ・サテライト参加者が少なかったのは申し訳ありませんでしたが、参加者からは意見として念願のWEB配信が始まったことに感謝していますとのことです。（大島）
- ・離島としては嬉しい限りです。また、サテライト会場の写真撮り忘れしました。申し訳ありません。（大島）
- ・運営、大変だったかと思いますが本当にお疲れ様でした。（大島）
- ・発表者に発表者支援ツールが使えない事の説明が（使えないのなら）必要なかもしれない。（鹿児島）
- ・内容はしっかりわかるのでサテライトは今後も続けて欲しい。（鹿児島）
- ・質問者用のマイクをスタンド式にして他会場に音声を配信できると、どのような質問か伝わるのではないか。（鹿児島）
- ・質疑応答は聞こえなかったが、わざわざ遠くまでいかなくて学術大会に参加できて良かった。（鹿児島）

「ウェルネスかごしま博覧会」 イベント活動報告

地域理事 島児 末治

10月6日(日)鹿児島県主催の「ウェルネスかごしま博覧会」がかんまちあで開催され県の要請でピンクリボン in かごしまと共催で参加しました。

ウェルネスとは、1981年にアメリカのハルバート・ダン博士が「輝くように生き生きしている状態」と提唱したのが始まりで、本博覧会を通じ鹿児島の豊かな自然や安心・安全な「食」など「健康・癒し・長寿」に有益な地域資源「鹿児島のウェルネスト」を理解し交流を深めるのが目的です。里アンナによる島唄ライブやヨガ体験及び鹿児島の食材にこだわった「かごしまマルシェ」等のイベントに約2,000名の来場者を得たそうです。

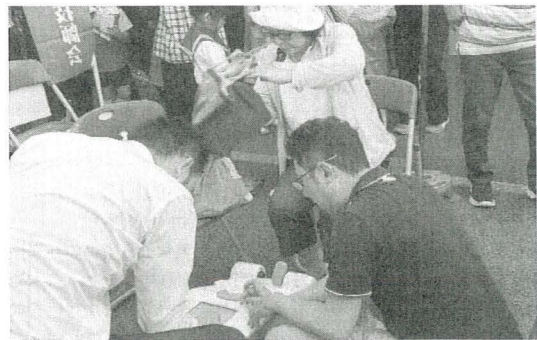
診療放射線技師会として、割り当たられたブースが狭い事もあり浮田学術担当理事と相談の上、パネル展示や骨密度測定を企画しました。臨床画像ギャラリー及び診療放射線技師業務内容パネル展示説明・診療放射線技師冊子配布・骨密度測定・結果説明にスタッフ6名の少数鮮鋭で望みました。会場には、多数の来場者がありパネル画像説明や骨密度測定と充実した時間を過ごしました。骨密度測定者数はピンクリボン共催依頼132名と最高の来場者となり、鹿児島県診療放射線技師会広報活動の任を果たせたと考えます。今後も様々なイベントを通じ一般市民に向けた継続的活動に尽力したいと思います。

最後に休日に関わらずご協力頂きましたスタッフの皆様にお礼申し上げます。

(イベントスタッフ)

島児末治(垂水中央病院) 松野下直美(徳久整形外科) 隈浩司(鹿児島市立病院)

大迫勇(鹿児島市医師会病院) 浅井愛邦・大坪丈太郎(今村総合病院)



第36回 市民健康まつり 開催報告

鹿児島県診療放射線技師会
総務理事 渡邊 義治

令和元年 11 月 10 日（日）は晴天に恵まれ鹿児島県診療放射線技師会として理事、応援スタッフ含めて 18 名の会員で健康まつりに参加いたしました。

骨密度測定者 539 名（前回比+200 名、今年は整理券なし）

前回までクレームとなっていた整理券をなくしたことで、すべての希望者の測定を行うことができました。また、測定結果の説明を X 線相談ブースにて実施したことにより、結果のご案内に結び付けて X 線相談まで実施できたことで、来場者に大変好評であった。さらに、DEXA への啓蒙ができたことで、来場者の多数の方から感謝の言葉をいただきました。

昨年より 4 名多い 18 名での運営（骨密度装置は 2 台⇒3 台）でした。混雑した中、応援スタッフの皆様が献身的な活動をしていただいたことで、昨年以上の検査数・昨年以上の盛況なブースとなりました。

文末となりますのが、応援いただきましたスタッフの皆様ならびに派遣いただきました各施設の技師長様に改めて御礼申し上げます。



【応援スタッフ 敬称略】

施設名	氏名		
市立病院	石原 広平		
内村川上内科	宮元 涼平		
今給黎総合病院	宮ヶ谷 璃		
相良病院	市木 由美	吉岡 未来	川地 岬
	宮崎 真友	永田 瑠那	
南風病院	久保 幸子	抜水 悠太郎	
厚生連病院	當房 蒼	村尾 由希	
医師会病院	大迫勇(理事)		
今給黎総合病院	浮田 啓一郎(理事)		
垂水中央病院	島兒 末治(理事)		
市立病院	岩元 博史(理事)		
清泉クリニック	渡邊 義治(理事)		

令和元年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域研修会・県秋季学術大会終了報告

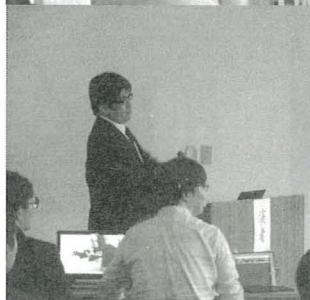
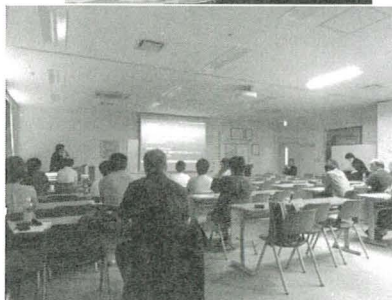
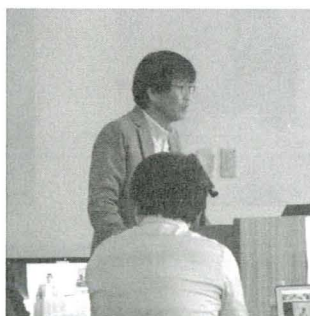
1. 日程

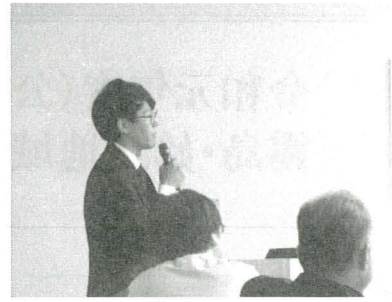
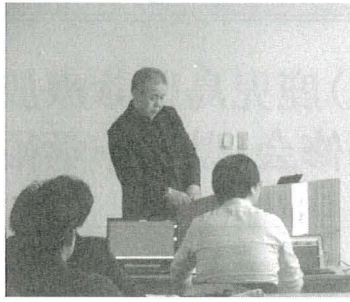
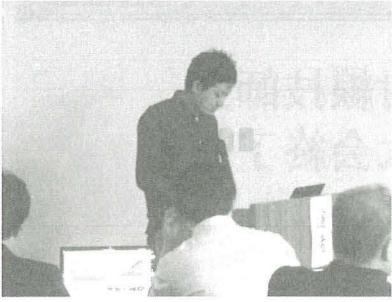
開催日：令和元年10月26日(土)
 時間：14:00～18:00
 会場：霧島市立医師会医療センター 大会議室

2. 会内容

- 【Ⅰ】開会挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域理事 坂口 右己
 【Ⅱ】県技師会活動報告 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原美郎
 【Ⅲ】会員発表 座長 霧島市立医師会医療センター 佐々木 崇

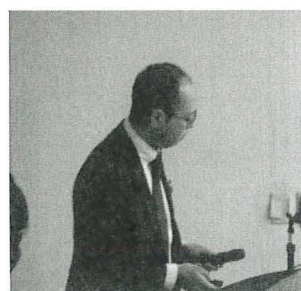
1. 『多施設間におけるCTDIvol DLP アンケートから見た前回結果との比較』
 鹿児島 CT 研究会(大井病院) 愛下 剛
2. 『脳外科領域における実症例、その時放射線技師の見解は?』
 医療法人財団 浩誠会 霧島杉安病院 桐木平 直樹
3. 『股関節軸位およびマルチウス・グースマンにおける補助具・テンプレートを用いた高精度撮影』
 公益財団法人慈愛会 今村総合病院 画像診断部 馬場 隆行
4. 『医療被ばく低減施設認定 準備から取得まで』
 公益財団法人慈愛会 今村総合病院 画像診断部 岩下 昌平





【IV】 CTトピックス

1. 『Deep Learningを用いた新しい画像再構成法Ture Fidelity imageについて』
GEヘルスケアジャパン株式会社 安田 龍人先生
2. 『最先端 CT 装置紹介と AI への取り組み』
シーメンスヘルスケア株式会社 内田 雄己先生
3. 『Deep Learning を活用したキヤノン CT の最新技術紹介』
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 小竹 啓介先生



【V】特別講演

座長

霧島市立医師会医療センター

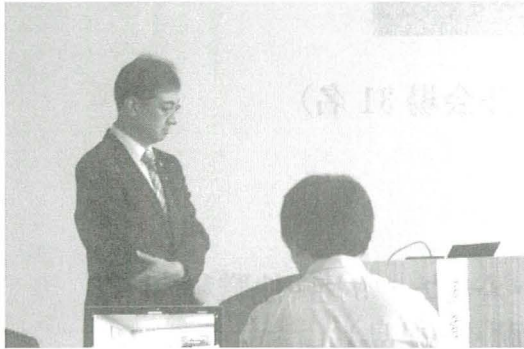
中村 克也

坂口 右己

『 医療法施行規則と診断参考レベル 』

セントメディカル・アソシエイツ

広藤 喜章 先生





3. 出席者 78名(メイン会場 47名、サテライト会場 31名)

《内訳》 ・メイン会場
JART会員 38名
非会員 9名(放射線技師 0名・メーカー 9名・他職種 0名)
・サテライト会場(大島・大隅・北薩・鹿児島)
JART会員 31名

4.総評

一般演題は4演題と各施設興味深い発表が多く、討論も活発に行われました。CTトピックスでは3メーカーの先生よりAIに注目した最新のCT動向について紹介して頂きました。AIが進む中、技師のやるべきことは何かも考慮していかなければならないと感じる場面もありました。特別講演としては、セントメディカル・アソシエイツの広藤 喜章先生より『医療法施行規則と診断参考レベル』と題しました、来年令和2年4月より義務付けられる線量管理について、分かりやすく具体的なご講演をして頂きました。4月に向けて我々診療放射線技師が線量管理における『記録』・『評価』・『最適化』について何を準備していかなければならないかがある程度明確になってきたと感じました。

なお、今回は県技師会活動の初の試みとして4カ所のサテライト会場(大島・大隅・北薩・鹿児島)を設けてWEB配信も行う最初の会ともなりました。こちらも大きな不具合等なく、無事成功に終えることができました。島児・大迫両理事のご協力どうもありがとうございました。

理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	太田原 美郎	内村川上内科	099-244-1500
副会長/学術理事	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長/表彰理事	野中 康博	医療法人菊野会 菊野病院	0993-56-1135
学術理事	藤崎 誠	鹿児島共済会 南風病院	099-226-9111
学術理事	浮田 啓一郎	公益財団法人昭和会 今給黎総合病院	099-226-2211
学術理事	松野下 直美	徳久整形外科	0993-53-4311
学術理事	東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校	099-261-6161
財務理事	大山 貴章	鹿児島市立病院	099-230-7000
福利厚生理事	西 憲文	JA鹿児島厚生連病院	099-252-2228
編集・広報理事	大迫 勇	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	伊藤 大助	社会医療法人緑泉会 米盛病院	099-230-0100
総務理事	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科内科	099-223-1936
総務理事	岩元 博史	鹿児島市立病院	099-230-7000
総務理事	村山 淳一	国立病院機構 鹿児島医療センター	099-223-1151
総務理事	浅井 愛邦	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	099-251-2221
鹿児島地域理事	大迫 俊一	社会医療法人 博愛会 相良病院	099-224-1800
北薩地域理事	恵 雄志	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター	0996-32-9999
南薩地域理事	野中 康博	医療法人菊野会 菊野病院	0993-56-1135
霧島・姶良地域理事	坂口 右己	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島見 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	児玉 公輝	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
監事	池田 睦	医療法人 南和会 白坂病院	099-255-3161
監事	宮寄 信	外部監査人	

広告掲載一覧（順不同）

会社名	郵便番号	住所
東洋メディック株式会社 福岡支店	812-0007	福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40 コロナ福岡ビル4F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル3F
フィリップスエレクトロニクスジャパン 鹿児島営業所	890-0065	鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル7F
シーメンス・ジャパン 南九州 営業所/サービスオフィス	892-0823	鹿児島市住吉町12-11 鹿児島共同倉庫本社ビル1F
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F
富士フィルム富山化学株式会社	812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1 富士フィルム福岡ビル

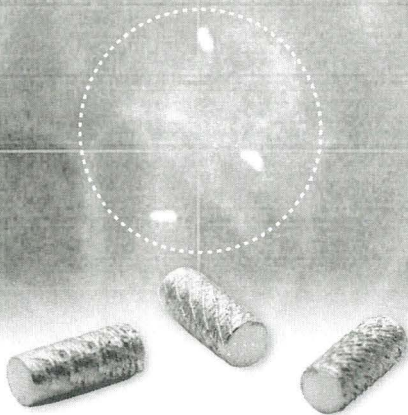
ACCULOC ゴールドマーカ

植込み型
病変識別マーカ

より正確なターゲットの 位置確認に

CIVCO社のACCULOC ゴールドマーカは、体内の腫瘍近傍に埋め込むことでターゲット位置の確認に使用される、X線不透過性の植込み型病変識別マーカです。

滅菌済ニードルに予め装填されたマーカは、超音波などのイメージガイド下で経皮的に刺入・留置され、治療装置のEPIDやkVイメージャ、CBCT(コーンビームCT)によって、治療時の位置照合に用いられます。



販売名:ACCULOC ゴールドマーカ
医療機器承認番号:22600BZX00258000



For All Your Tomorrows
TOYO MEDIC

<http://www.toyo-medic.co.jp/> E-mail info@toyo-medic.co.jp

製造販売元

東洋メディック株式会社

本社:〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13
TEL.(03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264
大阪支店:〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-25-7
TEL.(06) 6441-5741 (代表) FAX (06) 6441-5745
福岡支店:〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40
TEL.(092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027
支店・営業所:名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山



// より良い
明日へ

患者さんとそのご家族の「満たされない願い」に応えるため、革新的な新薬をいち早くお届けすることが私たちの使命です。医薬品の開発を通して人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <http://byl.bayer.co.jp/>

Science for a better life

GE Healthcare



Partners for Better Health Helping You Achieve Desired Outcomes

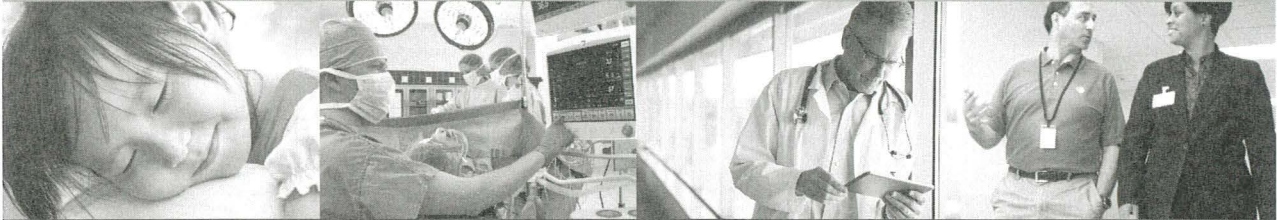
先生方が求めるアウトカム（結果）を達成するための
パートナーとなるべく 全力を尽くします

患者満足向上
INCREASE PATIENT
SATISFACTION

卓越した臨床
ACHIEVE CLINICAL
EXCELLENCE

検査効率の改善
IMPROVE OPERATIONAL
EFFICIENCY

持続可能性を推進
DRIVE
SUSTAINABILITY



患者さまのための臨床上の有用性、オペレーション効率、経営改善…

GEは、お客さまが求めるさまざまな成果を実現する、先進的な画像診断技術とソリューションをお届けします

皆さまと共に、GEの技術で医療の未来を切り拓く

GEヘルスケア

JB57808JA

PHILIPS

iQon Spectral CT

iQon Spectral CT



Spectral is Always On

すべての人にスペクトラルイメージングを

innovation + you

株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

iQon Spectral CT
全身用マルチスライススペクトラルCT装置

Model: iQon Spectral CT
Product Code: 22100000000000000000
© 2017 Philips Medical Systems, Inc. All rights reserved.
www.philips.com/healthcare
© 2017 Philips Japan, Ltd.



医療施設向けクラウドサービス

teamplay

医用情報ビッグデータの活用、始まる。

www.healthcare.siemens.co.jp

PET/SPECT

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、虚血性心疾患診断薬、てんかん診断薬

FDGスキャン[®]注
放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F)注射液

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・副甲状腺疾患診断薬、腫瘍（脳、甲状腺、肺、骨、軟部、線形）診断薬

塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP
日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl)注射液

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、炎症性病変診断薬

クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP
日本薬局方クエン酸ガリウム (⁶⁷Ga)注射液

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・骨疾患診断薬

クリアボン[®]注
放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム (^{99m}Tc)注射液

(注)登録商標
注)注意・医師等の処方箋により使用すること

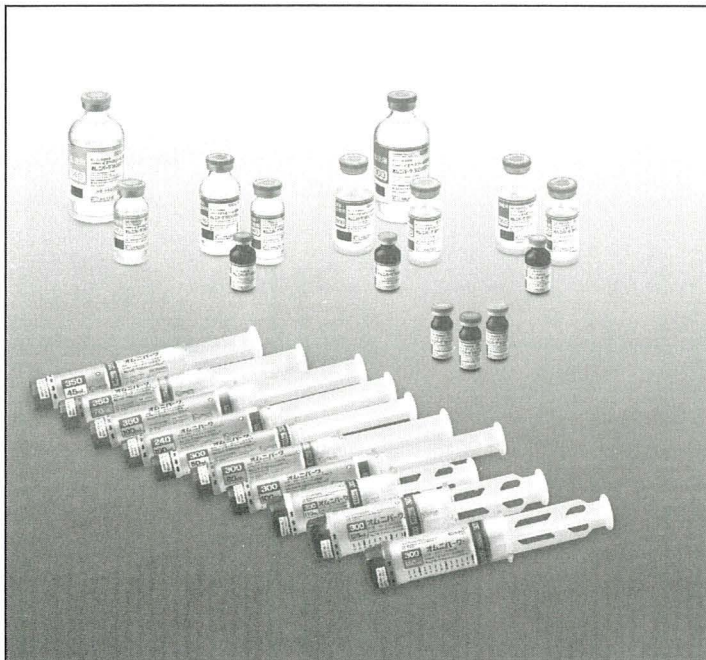
■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

資料請求先
日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。
<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂



日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)
 オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)
 オムニパーク240注20mL・50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注20mL・50mL・100mL(尿路・血管用)
 オムニパーク300注150mL(血管用)
 オムニパーク350注20mL・50mL(尿路・血管用)
 オムニパーク350注100mL(血管用)
 オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)
 オムニパーク300注10mL(脊髄用)

日本薬局方 イオヘキソール注射液
 オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)
 オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)
 オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)


★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の
 詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

非イオン性造影剤
 処方箋医薬品[※] 薬価基準収載



オムニパーク[®]

OMNIPAQUE[®]
 ※注意—医師等の処方箋により使用すること

製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社
 東京都中央区日本橋本町3-5-1

2018年1月作成

FUJIFILM
 Value from Innovation


処方箋医薬品[※] 薬価基準収載
 非イオン性尿路・血管造影剤
イオプロミド注「FRI」



イオプロミド300注「FRI」20mL・50mL・100mL
 イオプロミド370注「FRI」20mL・50mL・100mL
 イオプロミド300注シリンジ「FRI」50mL・80mL・100mL
 イオプロミド370注シリンジ「FRI」50mL・80mL・100mL
 Iopromide Injection FRI・Iopromide Injection Syringe FRI
 イオプロミド注射液 [※]注意—医師等の処方箋により使用すること

●「警告」、「禁忌」、「原則禁忌」、「効能又は効果」、
 「用法及び用量」、「使用上の注意」等に
 つきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元
富士フイルム 富山化学株式会社
 資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビル TEL.03(5250)2620
 ホームページ：http://fjtc.fujifilm.co.jp

輸入先

 バイエル社
 (ドイツ連邦共和国)

2018年10月作成

